



今の特集

コロナウイルス対策 第3弾

4月号、5月号とコロナウイルスへの取り組み等について特集を組んでまいりました。

今月号はコロナウイルス関連 第3弾としまして、皆さまにお届けいたします。

まだまだ終息の目処が立たない状況ですが、私たちは**“できることをしっかりと”**。

皆さまに安全と安心をお約束いたします。

1. 口腔ケアと肺炎（コロナ）予防

重症化すると命にかかわるおそれがある新型コロナウイルスですが、**口腔ケアでそのリスクを減らせる可能性がある**ということがわかりました。鶴見大学歯学部 花田信弘教授の解説を以下に記載します。

歯周病菌など口の中の細菌はいつも少量ですが肺の中に入っていきます。

普段はそれで問題ないが、新型コロナウイルス感染すると肺の免疫力が低下することがわかっている。

その状態で口の細菌が肺に入ると、ウイルスによる肺炎とは別に細菌による肺炎を起こす。

ウイルス性肺炎と細菌性肺炎のダブルパンチが危険。

ウイルス感染の予防、続いて起こる細菌性肺炎の発症リスクを日頃からできるだけ低くしておくことが、**新型コロナウイルスに打ち勝つポイント**。

歯周病の治療や歯みがきだけでなく、舌みがきも忘れないようにしていただきたい。



以上のことから、口腔ケアがいかに大事かわかり頂けると思います。

口腔ケアは“不要”ではありません。その逆で**“必須”**と捉えるべきではないでしょうか？



2. エアロゾルを軽減可能な当院のユニット

“エアロゾル感染”新型コロナウイルスの拡大により、初めて耳にされた方も多いのではないのでしょうか。

エアロゾルとは、気体中に浮遊する微小な液体または固体の粒子のことを言います。(日本エアロゾル学会) 小さな粒子は長時間空気中に留まり続け、部屋中に広がって空気感染を引き起こすということで、歯科治療がクローズアップされているのも一定の理解は出来ます。当院で設備しているKAVO社製のユニットは、**強力なバキュームシステム**が搭載されており、エアロゾルの口腔外への拡散を防ぐことを可能としています。



通常のバキューム力



KAVOのバキューム力

3. ホルンドレープでエアロゾル対策

当院では診療時にマイクロスコープを使用しております。

この度、エアロゾル感染対策として「ホルンドレープ」と呼ばれるマイクロスコープを用いた診療でもエアロゾル感染を防止できる仕組みを作りました。

精密な治療でも対策をしっかりと行なってまいります。



4. クレベリンでウイルスにアタック

「クレベリン」という商品をご存知ですか？ ラッパのマークでお馴染みの大幸薬品から発売されている商品です。主成分は「二酸化塩素」で、濃度が適正であれば動物には無害な成分です。二酸化塩素には菌やウイルスを殺菌するという性質があり、昨今の情勢からするととても期待の持てる製品です。今までは「二酸化塩素」を生成するために、化学反応を利用していたのですが、反応速度が速く一気にガスが発生してしまうため、高濃度で有害となり、普段利用するのは難しいものと捉えられていました。

これを改善するべく、ゆっくりと長時間かけて二酸化塩素を生成する仕組みを大幸薬品が作り、手軽に利用できるようになったのです。

空気中に浮遊している菌やウイルスに、直接アタックを可能にしたのがクレベリンです。

当院では各診療室に配置し運用開始しております！

コロナに負けない！ コロナに屈しない！

シュンデンタルでは、常に最新のエビデンスをもとに対策を打っていきます。

もう少し先に見える、明るい未来のために。



シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>